



小中交流会～「北中の顔」へ！「先駆」へ！～



12/5(金)、矢巾町小中交流会が開催され、来年度入学予定の小学6年生が来校しました。

交流会は2年生が対応です。最初に生徒会主体で「生徒会や三大行事の紹介」があり、スライドを使いながら紹介。続けて、部長会から「各部の活動」のショートムービー。1年生も含めた出演で各部の様子を伝えました。後半は、北中魂をダブルで！まずは「皐月祭各組団応援」発表。そして合唱！「相手が小学生」を意識した「ドラえもん」は全員の振り付き＆ドラえもん・サンタ隊からのプレゼント付き。特に合唱は「もうすぐ矢北の顔」に心ざわしい立派な出来でした。小学校の先生方等からは「あの人たちがこんなにも立派になったなんて。感動です。」との声。練習の様子も時々見聞きして、「ここまで」も道のりも大変だったようです。その様子を見聞きして思います。『中学生って「本気」「真剣」「協力」のレベルを上げるとき。そのために話し合ったり、追い込まれたり、「アメ」を与えたり、しつこいくらいに時間をかけたり、周りに引っ張られたり…そういうことを通して「本気」「真剣」「協力」のレベルが本物になっていく。他に変えられない大事な時間だった。』と。

さて、交流会後的小学生は、1年生の生徒会執行部へ質問タイム。さっきまでの雰囲気が変わり、二人に次々と質問。……逆に言えば、「さっきまでは2年生が『2つ上』を意識していた？今度は1年生なので少しリラックス？」という空気も感じました。質問対応のお二人、ありがとうございました。

交流会の後は、1年生各学級の授業参観。……「おっと！どーしたー！？」というくらい立派。背筋が…道具が…声が…すべて◎。さらに、各教室全体に「学びに向かう空気」があります。中には、机の近くに来た小学生に優しく学習内容を教える姿も。……午後には「疲れた～」と言う人もいましたが、それでいいと思っています。疲れたということは、「自分をコントロールした」「努力した」ということ。筋肉だって、筋肉痛を乗り越えて、鍛えられます。……それぞれが考える「先輩の姿」の経験が、ステップアップにつながることを期待しています。



「チェロとピアノの音色に包まれて～芸術鑑賞教室～

12/5(金)、山口奏さん・満田俊彦さんによる芸術鑑賞教室(小中交流の関係で1・3年生のみ)が行われました。(お二人とも、翌日に紫波町でのコンサート予定がある中、子供たちのために日程を調整していただきました。)

当日は、心地よい音色に包まれ、心がゆったりするひとときを過ごせたのではないかと思っています(少なくとも私はそうでした)。また、演奏だけではなく、チェロやピアノの特徴・素晴らしさなど楽器に対する説明や、ご自身の経験も含めながら「人生観」「努力の意味」なども含め、3年生へは進路に向かう励ましも頂きました。その中でのお二人の共通意見。「大事なのはコツコツやること。急にできることはないから。」……よい意味で「一事が万事」です。

お別れの時には、3年生からサプライズの合唱プレゼントも。2ヶ月歌っていない曲を、帰りの会だけで復活。お二人が、大変感動していました。(合唱の出来に私も驚きました。さすが3年生です。拍手でした。)



「矢巾」を見つめ、考える機会に～フリモント町派遣事業報告会～

12/7(日)に、やはぱーくで、フリモント町派遣事業報告会が行われ、本校から参加した似田貝朋加さん、山本陽向子さんが、フリモントで見聞きしてきたこと、感じてきたことを発表しました。(二人とも食文化を中心として経験の発表で、夕食・朝食の違い、普段の給食の意義、「水」の扱いの差[日本の飲料水のよさ]などの発表がありました。)

報告会後は、町内在住外国人から学ぶ「ふれあい広場」に、山本さんが参加。クイズ大会や交流タイムなどで、国際交流を深めました。

どんな体験でも同じですが、お二人の経験が「アッちもいい」「コッちもいい」(それぞれのよさを認める)につながり、日本の、矢巾の、矢北のよさを振り返ることや、さらに高めていくための機会につながることを期待しています



それぞれの「努力のつ国」～冬季スポーツも開始！～

◎岩手県中学校スケート大会・スピード競技[12/6(土)7(日)]

【女子】 500m 第2位：田中 美埜
1000m 第3位：田中 美埜

※今後、12/19(金)～21(日)に盛岡で開催される東北大会、1/31(土)～2/3(火)に長野で開催される全国大会にも出場します。



「雪」力ハサキ合されました！～子供たちのヘルプに感謝～

12/5(金)、予想以上の初「積雪」となりました。「とけるかな」とは思いましたが、安全上の念のためと思い、雪かきをしていると、次々とヘルプの子供たちが加わり、「あっ」と言う間に完了。拍手です。(当日の小学生出入り口になる体育館前まで)



冬の間、家の前や校地内はもちろん、自宅近くの歩道、道路、近所の高齢者住宅前など、「誰かのため」に力を貸せる生徒が活躍してくれることを期待しています。